

# 武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第26号

発行

武蔵野市教育委員会指導課  
令和5年3月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

検索



## 市内の小学校で学習者用コンピュータの活用をテーマに研究発表がありました

先月、市内の小学校で「情報活用能力を身に付け、すすんで問題を解決する児童の育成 ～学習者用コンピュータの効果的な活用を通して～」をテーマに研究発表が行われました。各学年の子どもたちの実態に応じて、学習者用コンピュータを効果的に活用した授業が全学年で展開されていました。

1年生の音楽の授業では、SKYMENUの「発表ノート」の機能を使い、リズム打ちを表現する活動が行われていました。先生が事前にリズムのデジタルカードを子どもたちに配付します。その後、子どもたちは繰り返しデジタルカードを入れ替え、試行錯誤しながら何度もリズム打ちを試していました。



【リズム打ちをしている様子】

6年生の社会科の授業では、各自が調べた国の特長を、友達に発表する活動が行われていました。スライド機能を活用して発表していたり、聞き取りのメモをドキュメントに打ち込んでいたりする等、子どもたち自身が、どのような機能を使うとより効果的な学習になるかを考えながら取り組んでいました。



【グループに分かれて発表している様子】

子どもたちが主体的に学ぶ姿からは、日頃から学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用した授業が実践されていることが伺えました。

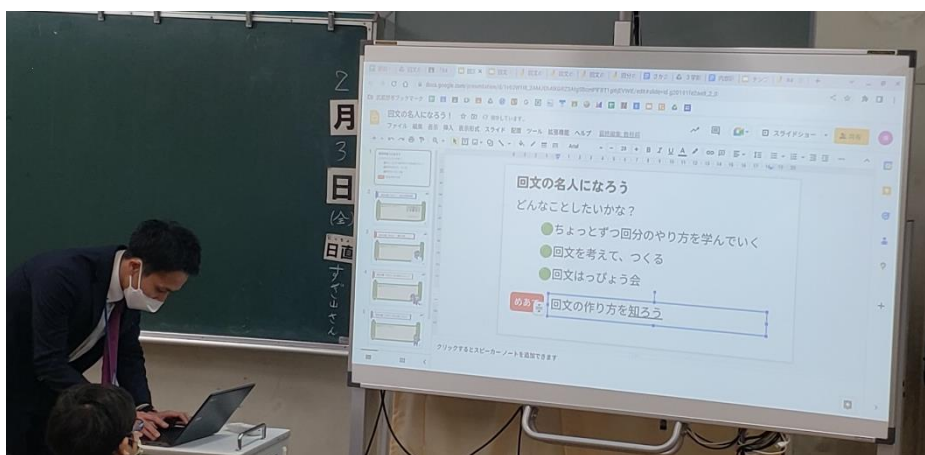
(裏面あり)

## 授業事例 学習者用コンピュータを活用して回文を作ろう

市内の小学校2年生の学級で、回文づくりの単元でジャムボードを活用した国語の授業が行われました。

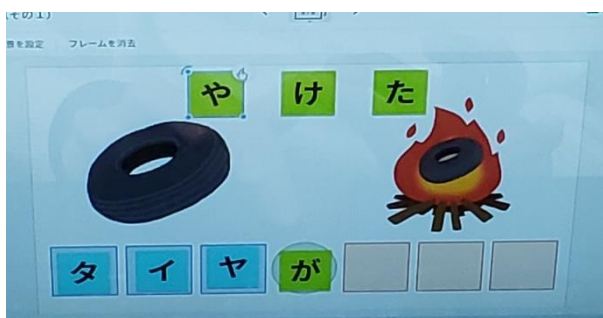
授業では「回文の名人」になるために、どのように学習を進めていけばよいか、子どもたちと先生と一緒に考えていました。「苦手な人もいるから、ちょっとずつ回文の作り方を学んでいこう。」

「学んだら回文を作ろう。」「作った回文を発表しよう。」と子どもたちから学習課題についての意見が次々と上がります。担任の先生は、子どもたちの意見を学習者用コンピュータに打ち込み、学級全体で共有します。

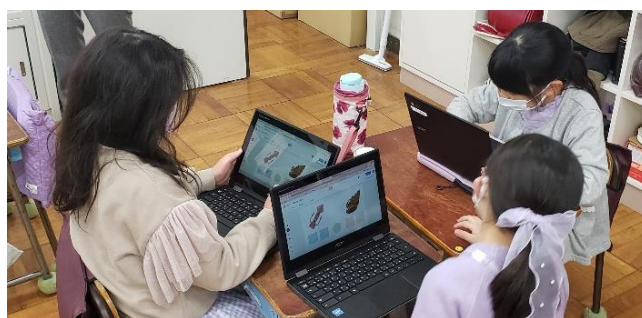


【先生と子どもが一緒になって学習課題を設定している様子】

学習のめあてが決まり子どもたちは、回文の作り方のコツを学びます。先生がクラスルームに課題を配布し、子どもたちは各自でジャムボード上の課題に取り掛かります。かつて使われていた紙の教材カードと違って、机から落とすことや破れたり汚れたりすることなく、子どもたちは画面上で自由に試行錯誤していました。



【先生から配付された資料】



【グループを作って話し合っている様子】

授業が進むにつれて、回文作りが得意な子どもは配付されている次の課題へ進む等、自分のペースで学習に取り組んでいました。一方で、友達と相談しながら考えている子どもや、悩んでいる子どもに教えに行く子どもがいるなど、学級の中で協働しながら学習に取り組む姿も見られました。2年生でも学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用する授業が展開されていました。